

## 令和5年度 第1回三木市学校給食審議会 議事録

- 1 開催日時 令和5年4月24日(月) 19時～20時40分
- 2 開催場所 三木市役所 5階大会議室
- 3 出席者

会長	水野	千恵
副会長	河原	正則
委員	松谷	真利
委員	中西	千津江
委員	前田	義典
委員	高橋	美野
委員	西未路	雅恵

### (事務局)

教育委員会	教育長	大北	由美
教育総務部	部長	本岡	忠明
教育施設課	課長	荒田	知宏
教育施設課	給食係長	谷田	麗奈
教育施設課	給食係主査	塔田	邦美

- 4 傍聴者人の数 0人

### 5 会議の概要

- (1) 委員委嘱
- (2) 自己紹介
- (3) 会長、副会長の選出
- (4) 審議会の目的と委員の役割
- (5) 諮問
- (6) 議事

- ① 議案第1号 三木市学校給食基本方針の策定について
- ② 議案第2号 三木市学校給食費の改定について

### 6 主な発言の要旨

- (1) 議案第1号 三木市学校給食基本方針の策定について  
[資料P7～18により事務局説明]

(委員)

我が家が毎日食べるお米に、最近、無農薬米を取り入れています。学校で取り扱っているお米が、どのような農薬が使われているのか、気になるので、お尋ねします。

(事務局)

米はJAから購入している慣行栽培のものです。市内では減農薬で作っているところがありません。

(会長)

どのような農薬が使われているのかっていうのを、調べていただくことはできますか。

(事務局)

いつどのような農薬を使ったかというのはすべて提出していただいています。残留農薬検査は、年に3回実施しており下限値以下を確認してから使用しています。

(会長)

どのような農薬を使っているのかを教えてください。

(事務局)

検査結果がありますので、次回に提示させていただきます。

(会長)

週に3.5回食べているご飯のため、一番気になると思います。

(委員)

基本方針のことで、地産地消率の目標値はありますか。

(事務局)

今年度は昨年より野菜の使用が多く、重量ベースで28%になりました。それまでの地産地消率は、20～25%程度でした。目標値は30%です。

(委員)

その目標値は、国や県の計画にある基準を目指すということですか。

(事務局)

県は、県産県消を推進しており、県産率35%を目指しています。三木市は市内産だけで28%、県産ですと41%あります。市の政策として市内の農家を育成したいという思いがありますので、市内産食材30%を目指しています。

(会長)

市で、市場と市内産価格との差額を払っていただけているからこそ、

他市よりも、市内産のものが使用できているという理解でよろしいですか。予算の上限があって抑えられているのか、もっと政策的に、野菜の種類を限らず、増やすことも可能なのでしょうか。

(事務局)

昨年、品目を増やすことを生産団体と協議し、今年度は冬瓜や南瓜を使ったメニューを考案していただくよう栄養教諭にお願いしています。今後も、品目を増やせるよう努力します。

市場との差額が補助されるようになり、地産地消率は伸びています。やはり給食費を逼迫しないよう献立を考えるようになるので、その制限がなくなったことで、献立の幅が広がります。

(会長)

差額を出していただけることによって、子どもたちの給食に還元され、その保護者の方にも還元されるし、三木市内の農家の方を育てるっていうことの両方に、いい影響をしているっていうことですね。

冬瓜は家でお料理をすることが少ないと思うので、ぜひ給食に取り入れてほしいですね。その形を見ることも少なくなってきましたし、その機会を食育でぜひ、実現していただけたらと思います。

(委員)

市内産の野菜以外で地産地消のものは、何がありますか。

(事務局)

現在、使っているのは、野菜以外に卵と味噌です。市内に養鶏場はありますが、卵アレルギーの子どもが多いので月に1回程度しか使用していません。

(委員)

市内の野菜で、三木市ならではのものがありますか。

(事務局)

生産団体であるJAと吉川のようにしょう会が、玉ねぎの生産に力を入れています。しかし、保存する場所がないので、5月から9月という期間限定になっています。その間は、市内産の玉ねぎを使用しています。昨年度は、秋じゃがいもを作られるようになり、新しい品種も取り入れました。男爵系のニシユタカは、ゴツゴツして芽を取りにくいのですが、給食にも使えるようになったので、市内産の使用率が伸びた要因ではあります。他に9月にぶどうのピオーネを出し、特産として、PRしています。

(委員)

国がご飯を増やすことを、目指しているのですか。

(事務局)

国は、給食の米飯回数を週3回以上目指しています。以前は、米飯の価格が高かったので、4回にできずに3.5回になりました。できる限り、米飯給食で和食の大切さをPRするために、3.5回まで増加したのですが、それ以上増やすのかどうかを検討しています。子どもたちにはバタートッパンが一番人気で、米飯を週5回にしてしまうと楽しみが減ってしまいますし、そのあたりの加減が難しいところです。

(委員)

バタートッパンが給食のメニューにあったら喜んで学校に行っています。

(委員)

子どもたちは楽しく給食をいただいていると思います。献立の作成をはじめ、栄養教諭、調理場、給食を配送してくださる方等、本当にたくさんの方々のおかげで、子どもたちのもとに給食が届けられているということを実感しています。非常にありがたいことだと思っています。

(委員)

セレクト給食は、年に何回ぐらいありますか。

(事務局)

コロナ以降、年1回になっています。それまでは学期に1回程度実施していたのですが、配食に時間がかかってしまうため、今はケーキ等、個包装だけにしています。コロナ禍が治まりつつありますので、検討していく予定です。

(委員)

子どもが楽しんで食べるセレクト、リクエスト等を、例えば四季折々の行事ごとに増やせると、食品ロスにも繋がるのと思います。

今もセレクトでジュース等を出していただけていますが、食品ロスをなくすためにも、牛乳がないという日を意図的に作ってもいいのではないのでしょうか。

また、牛乳は栄養面の確保で出ていると思うのですが、ご飯にはお茶だと思っていますので、牛乳のカルシウムの代わりにチーズとかヨーグルト等を出して欲しいという希望があります。

もう1点、近所に年配の方が農作物を作られています。個人では食べきれず、結局、全部捨ててしまうことがもったいなので、三木市で給食に提供するシステムを作れば、作り手もみんなに貢献ができるという喜びもあるし、食品の無駄を無くせるのではないのでしょうか。

(委員)

給食数の約6,000食を安定的に提供するのは、難しいですね。

(委員)

山田錦はお酒だけですか。学校給食での活用は何かありますか。

(事務局)

以前は、山田錦の米粉パンを提供していましたが、時間がたつと硬くなるのと、やはり価格が高くなるため、今は提供していません。

味噌は、山田錦の麴で作った錦みそを取り入れています。

(委員)

市内産の食材の紹介をこんだてカレンダーに、どんどん載せて教えてから食育になりますね。

(会長)

牛乳のお話がありましたが、子どもたちにとって、カルシウムは牛乳がある日には足りているかもしれませんが、しかし、夏休み等給食がない時はカルシウム不足の傾向がありますが、それを補うだけのカルシウムを大豆や、緑黄色野菜で取るのは難しいです。牛乳も値段が上がっていますし、月に1回ぐらい牛乳が無くして、違う飲み物という考え方も、あるかもしれません。

(事務局)

今年度、牛乳1本で8円上がりました。栄養教諭に、月1回程度牛乳のない献立を作成できないか相談しています。平均栄養価のことがあるので、冷たく飲みにくい冬場に、月1回程度、無くせるように検討する予定です。

(会長)

チーズを牛乳の変わりにという話がありましたが、チーズは塩分が少し高めなので、何回も入れられないと思います。牛乳を使ったクリームシチューでカルシウムをアップできる日に野菜ジュース等を学校では出せないですか。

(事務局)

オレンジジュースやジョアを提供しています。ヨーグルトもありますが、牛乳も提供します。

(会長)

果物はどうですか。

(事務局)

みかんだけは、調理場のシンクで3回洗ってから提供していますが、

その他のものは全て業者の方で小袋に入れたものを使用しています。

(委員)

意味合いだけですが、学校が定める食に関する指導の全体計画は各校で、これに基づいてこの献立ができていますか。

(事務局)

市内の学校で、学習する時期が同じなので、献立は統一です。

(会長)

議案Ⅰは、次回も継続して審議します。

## (2) 議案第2号 給食費の改定について

[資料P19~21により事務局が説明]

(会長)

ご提案いただきましたが、学校給食では、令和3年度からの物価上昇に伴い、今年度は2,900万を市で負担する予定です。平成27年から給食費を上げていないため、このままでは財政的に難しい状況です。

(委員)

保護者負担と市負担は、本来のあり方はどうなのでしょう。

(事務局)

学校給食法では食材費と光熱水費が保護者の負担、その他の人件費や、修理費等は市の負担と定めています。三木市は、光熱水費も市が負担しています。

(会長)

食材費の高騰だけでも大きな金額になります。月額となれば、約600から700円の値上げとなります。保護者にとっては高いと思いますが、他市に比べると光熱水費も市が負担し、市内産の野菜を使うための補助もしているというような見解だと思います。

(委員)

給食費を改定すれば、県内で、どのくらいになりますか。

(事務局)

どの市も足踏み状態でまだ改定していないので、今後のことはわかりませんが、現状ですと上位の金額になります。

(会長)

来年の4月から給食費を上げようと思うと、6月までに答申が必要ですか。

(事務局)

給食費を改定しようとするれば、当然、議会の議決が必要になります。三木市の議会は、6月、9月、12月、3月に開催されます。6月に答申いただきましても、本会議にかけるのは9月議会です。9月議会で決定されれば、9月末には決定されまして、いきなりはできませんので、周知期間を置きたいと思っております。

(会長)

コロナ禍によって制限を受けたり、食材や光熱費も上がり、物価上昇が凄まじいです。保護者にとって生活は大変だと思います。未来の子どもたちのために少しでも住みやすい地域でありたいと考えますが、今日は、もう時間になりますので、次回に審議したいと思っております。

(委員)

1食234円で食べさせていただき、頑張っていたいて、ありがたいなと思っております。子どもたちの食べ物がちょっと良くなれば、給食費が上がることについて、負担ではないですが、中身が全然変わらないのは寂しいと思っております。

## 6 閉会あいさつ